

中部日本ニュース

シネスコ版

山口新聞=2ス16147 上野ウードあふれる広島カープ一宮崎-120R
 高知新聞=2ス16308 No. 473 38.2. 8 (本編トップへ追加)
 新潟県新聞=2ス16136 本編同じ

一、海の旧正月

—島根

わかめの産地島根県大社町の漁村で島の神社に初わかめを供え豊漁を祈願する旧正月のおまつりがありました。
 大むかし、うみねこがわかめを神社のらんかんに干しひなどりに与えたのが人間が食べるようになったはじまりといわれ村ではこの日をわかめの解禁日としたといわれています。

一、かつがれる家康公

—東京

家康ブームを呼んでいるおりから東京のあるデパートで徳川家康展が開られ、小説を書いた山岡荘八さんや目下芝居で家康になっている尾上松緑さんがかけつけました。
 このブームをよんだのも乱世を生き抜き徳川三百年のいしずえを築いたその智略は経営戦国時代の社長さんにはまさにうってつけのお手本というわけ
 貿易自由化の風吹く当節、社長族の家康ブームはまだ当分続きそうです。

アイモ風土記

一、雪害地帯

—新潟

裏日本一帯を襲った豪雪は二月五日ついに死者百名を超える空前の被害を記録。日本は年毎の水害に痛めつけられその上、今度は雪害という「白い洪水」の恐怖をいまさらのように思い知らされたのです。

雪害の中心新潟県では鉄道、道路など一切の交通が途だえたため孤立する町や村が続出しました。

上信越両線が交差し交通の要衝をなす長岡ですら除雪作業も最早、一町村や個人の力ではどうすることもできません。

こうした中で、市内の工場地帯も原料や製品の輸送ができず、生産中止、いたるところで輸出品が納期を控えて空しく山積みになっています。そして、この豪雪は今や社会不安にまでなろうとしているのです。

673R

474R

107R

22R